

▼昭和50年 琢成小の新入生は210人



▼昭和45年 第三中新校舎へ引っ越し

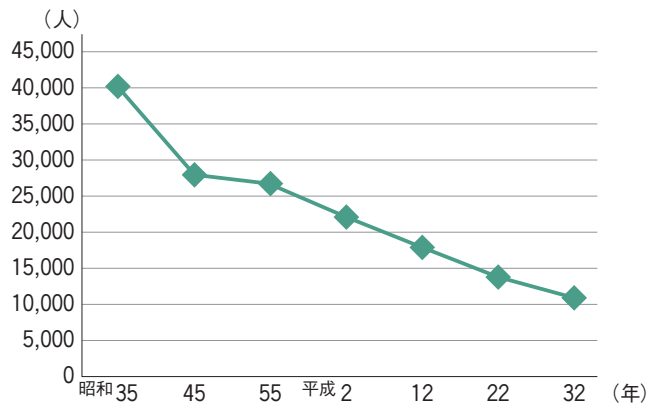


▼昭和40年 給食は楽しい時間



# 特集 学校の今

人口減少・少子化により統合が進んでいる「学校」。  
平成24年度の本市の小中学生は8,807人（平成24年4月1日現在）。  
今後も減少し、平成30年度には約7,500人になる見通しです。  
子どもの育ちの場である学校の現状を知っていただき、  
将来のあるべき姿について皆さんも一緒に考えてください。



酒田市の0歳～14歳人口の推移

◆推計は平成12(2000)年～平成22(2010)年の国勢調査結果の人口の動きが今後も同様に継続するものと仮定。

●お問い合わせ／市教育委員会管理課学区改編推進室 ☎26-5627



▲複式学級の授業の様子 先生は二つの学年の授業を交互に進めます



▲統合前の交流会で名刺交換「よろしくね」



▲部活動も大切な学校生活の一つ



## 昭和の市町村合併以降の小中学校の変遷

◆昭和の市町村合併の施行は、旧酒田市が昭和29年12月、旧八幡町が昭和29年10月、旧松山町が昭和30年1月、旧平田町が昭和29年8月（39年8月に町制）。

### 小学校 昭和30年1月1日現在【小学校数36校】

【旧酒田市】琢成、光ヶ丘、浜田、亀ヶ崎、西平田、松陵、飛鳥、西荒瀬、新堀、広野、浜中、黒森、十坂、宮野浦、東平田、中平田、北平田、上田、本楯、南遊佐  
 【旧八幡町】一條、観音寺、大蕨、青沢、日向、升田、福山  
 【旧松山町】地見興屋、山寺、松嶺、内郷  
 【旧平田町】山元、田沢、中野俣、北俣、南平田、南平田小山谷分校

34年 観音寺小・福山小が統合し八幡小学校  
 35年 山寺小・松嶺小が統合し松山小学校。南平田小山谷分校を廃止  
 42年 中野俣小・北俣小が統合し東陽小学校  
 45年 琢成小・亀ヶ崎小の学区改編により港南小学校設置  
 亀ヶ崎小・西平田小が統合し亀城小学校  
 47年 浜田小の学区改編により若浜小学校設置  
 山元小・田沢小が統合し田沢小学校  
 50年 琢成小・光ヶ丘小が統合し琢成小学校  
 55年 松陵小の学区改編により泉小学校設置。大蕨小・青沢小が統合し大沢小学校。日向小・升田小が統合し日向小学校  
 56年 若浜小の学区改編により富士見小学校設置

平成  
 元年 亀城小の学区改編により松原小学校設置  
 9年 上田小・本楯小が統合し本楯小学校（11年 鳥海小学校へ名称変更）  
 12年 飛鳥小休校  
 18年 南平田小・東陽小が統合し南平田小学校  
 21年 飛鳥小再開。八幡小・大沢小・日向小が統合し八幡小学校  
 （予定）25年4月 東平田小・中平田小・北平田小が統合し平田小学校  
 （予定）26年4月 亀城小・港南小が統合【小学校数26校】

### 中学校 昭和30年1月1日現在【中学校数20校】

【旧酒田市】第一、第二、第三、広野、袖浦、新堀、浜中、西荒瀬、飛鳥、平田、東平田、鳥海、南遊佐  
 【旧八幡町】八幡、大沢、日向  
 【旧松山町】松山、松山中地見興屋分校  
 【旧平田町】田沢、北俣、南平田

30年 鳥海中・南遊佐中が統合し鳥海中学校  
 32年 広野中・袖浦中が統合し第四中学校  
 33年 田沢中・北俣中が統合し高畑中学校  
 34年 新堀中・第四中が統合し第四中学校  
 36年 西荒瀬中・第一中の学区改編により第五中学校  
 大沢中・八幡中が統合し八幡中学校  
 44年 八幡中・日向中が統合し八幡中学校  
 松山中学校地見興屋分校を廃止  
 45年 平田中・東平田中が統合し平田中学校  
 47年 南平田中・高畑中が統合し飛鳥中学校  
 50年 浜中中・第四中が統合し第四中学校  
 60年 第二中・第五中の学区改編により第六中学校設置

平成  
 15年 飛鳥中休校  
 22年 鳥海中・八幡中が統合し鳥海八幡中学校  
 23年 第一中・第五中が統合し第一中学校  
 飛鳥中再開  
 24年 第二中・平田中が統合し第二中学校  
 （予定）26年4月 松山中・飛鳥中が統合【中学校数8校】

## 学校の歴史と現状

### ◎昭和30（1955）年

第二次世界大戦後、市町村には新制中学校の設置管理など新しい事務が規定されました。町村合併促進法（昭和28年）や新市町村建設促進法（昭和31年）により市町村の合併が進んだのもこのためです。昭和30年代に県内でも国の方針に従う形で、小中学校の再編成が進められました。

### ◎昭和50（1975）年

昭和40年代の第二次ベビーブームにより児童・生徒数が増加。一方では、過疎化により山村部の学校で複式学級が増加。これに伴い、昭和40年代後半から、統合や学区改編などによる学校の設置が続きました。

### ◎現在

少子化が進む中で、教育環境を整え教育効果を高めるためにも学校統合は避けて通れない課題として取り組んでいます。平成17年の市町村合併から現在までに、小学校2校、中学校3校の統合校が開校しています。

## 「生きる力」を育てる学校

市教育委員会では学校を、確かな学力を身に付けるとともに、多様な集団の中でルールを学び、社会性を培い、生涯にわたってたくましく「生きる力」を養う場と考えています。また今日では同年代の集団と関わることのできる貴重な場所が、学校だとも言えます。学校の教育環境を向上させるため、市民や有識者の方々と構成される小・中学校学区改編審議会の答申を受けて左記の通り、「酒田市立小・中学校の学校規模に関する基本方針」を定めています。

### 酒田市立小・中学校の学校規模に関する基本方針

（平成19年2月26日）

1. 学校規模に関する基本的な考え
  - (1) 小学校、中学校の標準学校規模は12～18学級
  - (2) 複式学級の解消に努める
  - (3) 過大規模校（31学級以上）は設置しない
2. 当面存続する規模
  - (1) 小学校
    - ① 学校規模／児童数100人程度以上を確保
    - ② 学級規模／1学級15人程度以上を確保
  - (2) 中学校
    - ① 学校規模／生徒数270人程度以上を確保
    - ② 学級規模／1学年3学級以上を確保
3. 配慮事項
 

学区の改編を進める際は、地域住民と十分な時間をかけて話し合い、理解と合意のもとに進める。

東平田・中平田・北平田小学校の統合にあたって、各小学校のPTA事業内容には違う点がたくさんありました。ただそれぞれの良いところを新しい学校に引き継ぎたいという思いで協議を進めてきました。学校統合に不安がないわけではありませんでしたが、子どものことを思えば統合は現実。将来を考え前向きな気持ちでなければ、進められません。PTAの今年のスローガン「地域に感謝を込めて」は、私のテーマでもありました。学校や子どもたちは地域に支えられていると実感しています。地域の皆さまには統合後も、温かく見守ってほしいと思っています。

いよいよ4月に平田小学校が開校します。子どもたちには新しい学校で仲間をつくって、学校から帰ってきたら今まで通り地域の中で伸び伸びと育ててほしいですね。統合は間違っていなかったと言ってもらえるように私もPTAの一員として支えていきます。



## 地域に感謝をこめて

市立東平田小学校PTA会長  
(東平田小・中平田小・北平田小学校  
統合準備委員会PTA部会)

佐藤 崇さん

## 新たなことにも 挑戦して発展を

市立鳥海八幡中学校  
平成24年度生徒会長

伊藤 聖真さん



鳥海八幡中学校が誕生した平成22年に、新一年生として入学しました。不安よりも期待や楽しみの方が大きかったです。二つの学校のルールなど違いはあったようですが、友人関係では地域の違いなども感じませんでした。友人や行動範囲も広がって学校生活を楽しく送れたことを家族も喜んでくれています。

学校をまとめるために頑張る先輩に憧れて取り組んだ生徒会活動。今年度は「志~292人の志士達と共に咲かせよう3年目の華~」というスローガンの下、全校での木版制作にも取り組むなど生徒の団結を強める努力をしました。3月で卒業ですが、後輩たちには先輩たちが築いてきた土台や伝統を大切にしつつ、新しいことにも挑戦してほしいと思います。学校をしっかりまとめるのは自分たちという気持ちで、鳥海八幡中学校の出身だと胸を張って言える学校づくりをしてほしいです。

## 教育環境の改善

本紙5ページの「学校別学級数・児童生徒数の推計」でわかる通り、本市には過大規模（31学級以上）の課題を抱える学校はありません。現在進めている学校統合や学区改編は小規模校の課題を解決するためのものです。

小規模校には、きめ細やかな指導を受けやすい、異学年間の交流が生まれやすいなどの良さがあります。統合して大きな集団の中で学び互いに刺激し合う良さが、必ずしも全ての子どもに当てはまるものではないかもしれません。ただ学校教育の目的達成という点では、複式学級や極端に少人数の場合は達成が難しいと考えています。現在、本市にも複式学級の小学校があり、その解消のため地域の方との協議を重ねている状況です。

## 学校統合の課題

地域の方との協議の中では、さまざまな不安の声や課題が出ます。学力の保障、通学路の安全性、新しい環境になじめるかななどの子どもの教育に関すること。またコミュニティと学校の関わり、文化

や伝統芸能の伝承、学校跡地の活用などの地域のこと。

学校統合や学区改編は地域の方や保護者と十分な時間をかけて話し合い、理解と合意のもとに進めます。また統合が決まった後は学校間で交流事業を実施して、統合後の授業が円滑にできるようにするなど、学校現場でも十分に配慮して統合を進めています。

## 将来に向けて

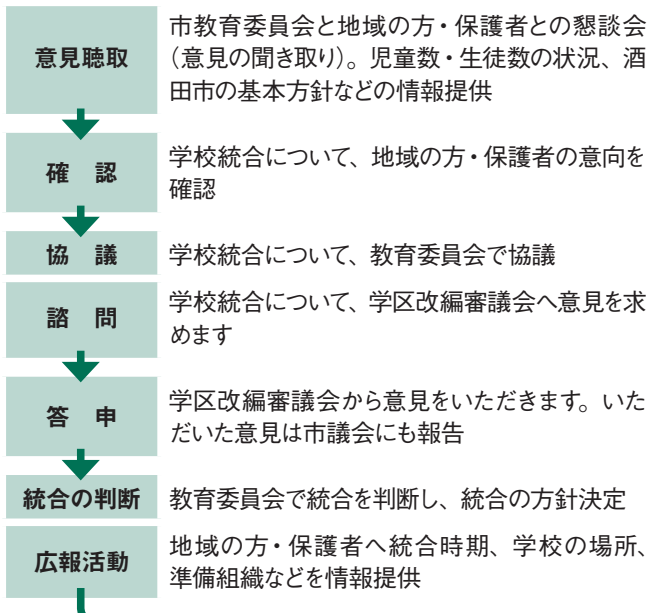
子どもが「生きる力」を身に付けるために、学校の生活面では多くの個性ある仲間と関わりながら自分の可能性をより多く見つけること、学習面では問題解決の方法を探す力を養うことが必要です。

このためには、子どもが教育を受ける権利や環境は平等でなければいけません。子どもたち同士が切磋琢磨し合える場面をより多く提供できる適正な規模、安定した教育環境の学校で子どもたちが教育を受けることができることを目指して環境の向上を進めていきます。

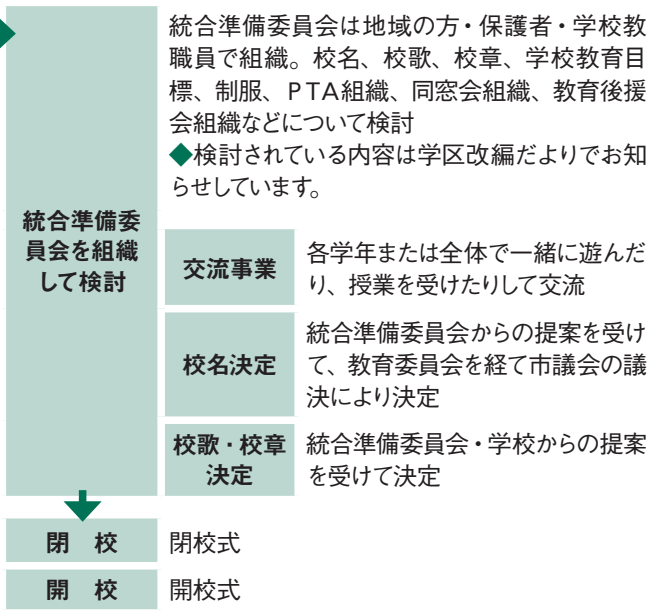
市民の皆さんも次世代を担う子どもがたくましく「生きる力」を身に付ける学校と、そこで学ぶ子どもたちを応援してください。

## 学校の統合は話し合いから始まります

●地域の方や保護者の方との話し合いには時間を掛け、理解・合意のもとに進めます。



●統合準備委員会を立ち上げてから開校まで、おおそ2年を目安にしています。



## 学校別 学級数・児童生徒数の推計

学級数 児童生徒数

年度 学校名	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
琢成小	10 242	10 243	9 232	8 207	7 194	7 187	7 178
*学区改編後 (H26.4実施予定)			10 245	9 221	8 211	7 205	7 195
亀城小	16 401	15 392	14 379	13 357	12 330	12 320	12 312
港南小	6 151	6 152	6 135	6 136	6 137	6 140	6 137
*統合小 (H26.4開校予定)			19 516	18 488	18 458	18 445	17 432
浜田小	11 277	10 252	9 237	9 226	10 230	10 231	9 217
若浜小	13 340	12 310	12 294	12 289	12 289	12 289	12 287
富士見小	16 425	15 416	16 425	16 415	16 413	16 410	15 393
松原小	20 556	21 581	22 604	23 630	23 654	23 675	23 670
松陵小	12 284	12 284	12 288	12 290	12 290	11 277	11 277
泉小	17 445	16 417	15 408	15 395	15 382	14 370	13 358
飛鳥小	1 2	1 2	1 2	1 2	1 1	1 1	1 1
西荒瀬小	6 115	6 113	6 115	6 111	6 107	6 109	6 109
新堀小	6 127	6 113	6 105	6 87	6 88	6 87	6 79
広野小	6 113	6 112	6 112	6 103	6 91	6 89	6 83
浜中小	6 113	6 104	6 88	6 88	6 77	6 72	6 71
黒森小	6 51	5 50	5 49	5 53	5 41	4 43	5 44
十坂小	12 281	12 261	12 246	11 239	11 236	11 223	11 222
宮野浦小	12 374	12 374	12 376	12 372	12 366	12 349	12 348
東平田小	6 67	6 72	6 66	6 71	6 63	6 59	5 57
中平田小	6 72	5 63	5 61	5 50	4 48	5 52	5 56
北平田小	6 77	6 76	6 62	6 61	6 59	6 56	5 53
平田小 (H25.4開校予定)	7 211	6 189	6 182	6 170	6 167	6 166	

年度 学校名	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
鳥海小	6 159	6 155	6 158	6 162	6 152	6 150	6 140
南遊佐小	6 54	5 53	5 50	4 46	4 47	4 42	3 39
一條小	6 103	6 100	6 93	6 87	6 90	6 84	6 74
八幡小	8 230	8 220	7 201	7 192	7 176	6 165	6 155
地見興屋小	4 44	4 40	4 40	4 40	4 36	4 36	4 34
松山小	6 93	6 91	6 85	6 75	6 73	6 68	6 66
内郷小	6 67	6 63	5 61	5 58	5 54	4 45	5 46
田沢小	3 31	4 30	4 29	4 28	4 27	4 29	3 27
南平田小	12 312	12 302	12 290	12 288	12 272	11 256	10 228
第一中	17 491	16 458	14 403	14 412	13 398	13 400	12 373
第二中	14 403	13 400	13 392	13 384	13 363	11 325	11 309
第三中	18 556	18 544	19 571	19 559	19 580	18 570	18 561
第四中	19 562	19 558	18 553	18 562	18 559	18 539	17 513
第六中	16 509	16 501	15 470	15 473	15 452	15 440	15 424
飛鳥中	1 1	1 2	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1
鳥海八幡中	11 292	10 289	10 292	10 289	10 283	9 271	9 264
松山中	6 133	5 125	4 118	4 114	4 110	4 108	3 93
飛鳥中	6 169	6 168	6 176	6 174	7 189	7 172	7 175
統合中 (H26.4開校予定)			10 294	10 288	11 299	11 280	10 268

※学区改編により船場町一・二丁目、本町三丁目は港南小から琢成小へ。平成26年度以降の数値は住民基本台帳より算出。  
◆平成24年度は平成24年5月1日現在の学級編成の実績。平成25年度以降は住民基本台帳の人数を加味して算出。なお、学級数は国の少人数学級制度の現状維持および教育山形さんプランの継続を前提に算出し、特別支援学級の学級数・児童生徒数は含めていません。